

## 国および秋田市の温室効果ガス排出実績と削減目標（案）

## 1 温室効果ガス排出量

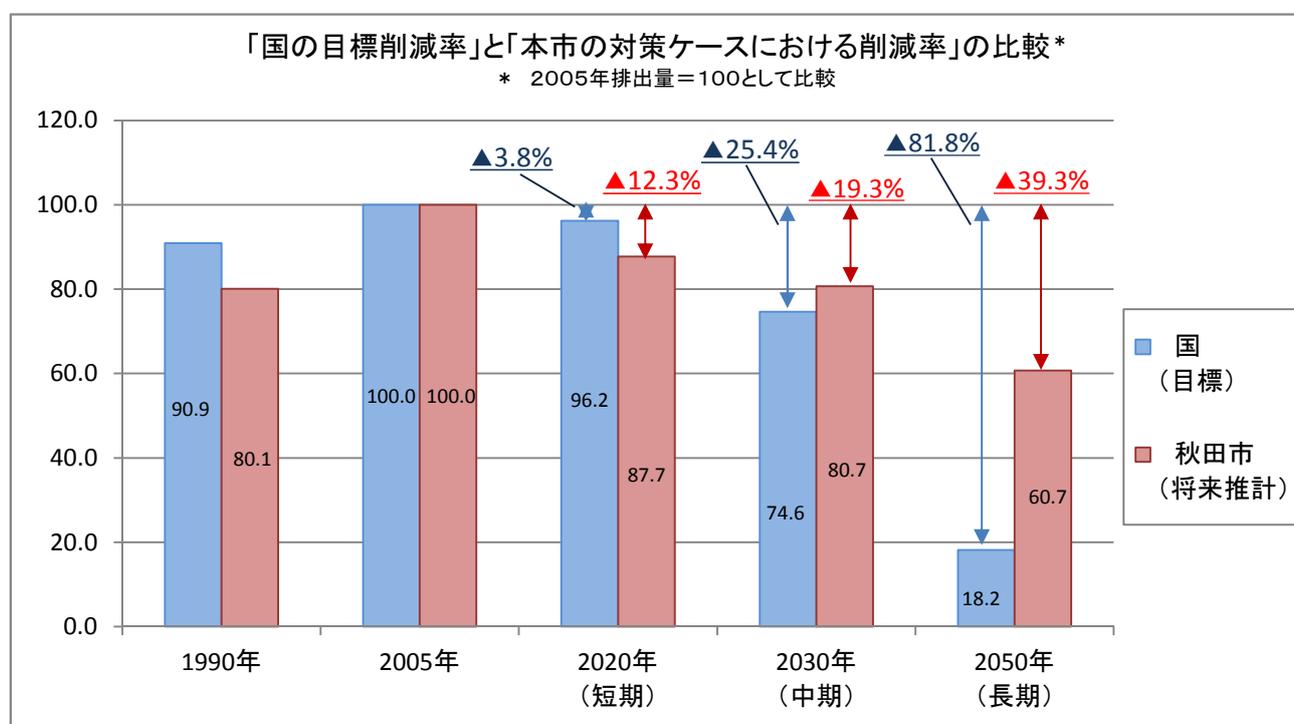
2020年以降の数値は、国は目標排出量であり、市は将来推計（対策ケース）によるものである。

単位：千t-CO<sub>2</sub>

		1990年	2005年		2020年 (短期)	2030年 (中期)	2050年 (長期)
国	実績	1,270,000	1,397,000	目標	1,344,000	1,042,000	254,000
秋田市	実績	2,936	3,667	将来推計 (対策ケース)	3,215	2,960	2,225

## 2 国および秋田市の温室効果ガス排出実績と削減目標の推移

2005年の温室効果ガス排出量を100とした、国および本市の温室効果ガス排出実績と、国の目標および本市の対策ケースにおける排出量比較は次のとおりである。



## 3 温室効果ガス削減目標

目標	基準年	本市			国			
		現行計画	見直し (将来推計結果)		新実行計画	旧政府目標	政府目標	
			対策ケース	ポテンシャル				
	1990	2005		2005	1990	2005	2013	
短期(2020)		▲10.0%	▲12.3%	—		▲25.0%	▲3.8%	—
中期(2030)		—	▲19.3%	—		—	▲25.4%	▲26.0%
長期(2050)		▲40.0%	▲39.3%	▲60.0%		▲80.0%	—	—

本市における削減目標については、将来推計（対策ケース）における排出量を基本（最低ライン）とし、今後具体的な取組による削減量を積み上げ、短期・中期・長期の各目標を設定します。